ビニペットの
東都興業株式会社
ヒロ
ビニペットEX

2022年（令和４年）
11月 7 日（月）
第1384号

園芸新聞®

発行所
株式会社園芸新聞社
〒180－0001 武蔵野市
吉祥寺北町４－７－13
電　話　0422(51)8953
ＦＡＸ　0422(55)7187
発行人　前田 彰宏
購読料　1ヵ年 5,400円
振替 00130－2－85300

全国土の会
第33回全国大会開く

東京農大横井講堂で行われた第33回全国大会

土づくりの精鋭、3年ぶり集結
森田茂紀氏の根の話が好評

全国土の会（後藤逸男会長）は、第33回全国大会を11月9日に東京農業大学世田谷キャンパス内の横井講堂で開催した。対面による大会は3年ぶりだが、参加出来ない人のためにオンラインによるハイブリッド形式で行われ、合わせて約250名の参加があった。後藤逸男会長の基調講演「肥料価格高騰、今こそ全国土の会の出番だ！（その2）」と、東京大学名誉教授の森田茂紀氏による「作物づくりのための根のはなし」の特別講演を軸にして行われ、このほか地域土の会と生ごみ肥料みどりくんを製造している大村商事の発表、農研機構「農業データ連係基基盤「WAGRI」の紹介など、多彩な内容で行われた。

コロナ禍により一昨年は開催を見送り、昨年度（今年3月開催）はオンラインのみによる変則的な大会からようやく脱却して、対面での大会が無事開催となった。13時に開会し、産業振興㈱・農大客員研究員の稲垣開生氏の司会で進められ、はじめに後藤逸男会長が挨拶。昨今の肥料価格高騰対策として家畜糞堆肥、汚泥肥料、あるいは生ゴミ肥料や生ごみ堆肥といった国産バイオマス資源を活用することや、有機と化学肥料を組み合わせて土の健康を維持しながら肥料代を節約していくことを提唱した。（5面に挨拶全文）

続いて過去の大会では来賓の祝辞挨拶が行われていたが、大会運営の省力化を図るために行わないことなり、変わってオンライン運営のアグリペディア（株）代表取締役・石田渡氏が協力者挨拶、全国肥料商連合会専務理事の西出邦雄氏と、産業振興㈱取締役肥料事業部長の能勢大伸氏が参加者挨拶を述べた。

セレモニー後は恒例の後藤会長の講演に。前回オンライン開催した際の続編となる「肥料価格高騰、今こそ全国土の会の出番だ！（その2）」のテーマで、前段では全国土の会の概要を紹介。地域土の会は長崎県土壌研究会土の会が発足して現在24支部、賛助会員は水ｉｎｇ㈱が新加入して31社となった。そして本題では挨拶で述べた内容に沿って話が進められ、国産資源を最大限に活用した土づくりや施肥を行ってほしいと力説した。

休憩に入り、参加者は賛助会展示ブースを見学。三菱ケミカルアグリドリーム㈱、産業振興㈱（転炉スラグ）、G-Better（育苗培土・勝太郎）、㈲木紅木（木酢液）などのメーカーが展示を行った。

続いて東京大学名誉教授、東京農業大学元教授の森田茂紀氏が「作物づくりのための根のはなし」の特別講演を行った。森田氏は水稲根系の形態と機能に関する研究を長年行っており、多収のポイントとして根の老化をゆっくり進める、すなわち根の活力を下げないことであり、その実現には水管理や窒素施肥等が重要であることを述べた。

このあと地域土の会等の報告が行われ、ふらの土の会の中山慎一会長、ふくしま土の会の八巻正好会長、中日本土の会の櫻井吉見会長、新加入した長崎県土壌研究会土の竹村健太会長、生ごみ肥料みどりくんを製造している大村商事㈱大村相哲社長の発表があり、最後に特別情報提供として農業データ連携基盤「WAGRI」の紹介が農研機構の二宮芳継氏より行われた。

最後に加藤浩副会長が登壇し、「今回ようやく対面での開催が実現し、主催者として大変嬉しく思います。参加された皆様に御礼申し上げます。次回も元気にお目にかかりたいと思います」と、閉会の言葉を述べた。

このあと懇親会が校内の食堂で行われ、和やかに交流を深めた。

がんばれニッポン農業!!
全野研推奨品・有機JAS対応
針葉樹木酢液
木紅木 キクノール®
土壌改良材
植物活性液
ph2.2～2.8
キクノールとキトサンで
連作障害を克服する!!
30倍～500倍
水耕・養液栽培にも
100%純正
天候に左右されない土づくりと
病害虫に負けない樹づくりで
糖度・旨み・日持ちUP!!
有限会社 木紅木（きくもく）
福島県いわき市好間町上好間字大畑100
TEL 0246(36)5016㈹
FAX 0246(36)2314
http://www.kikumoku.co.jp
お問い合せはお気軽に! サンプル無料進呈中!!

秋の叙勲発表
農林水産省関係

叙勲 3581名
褒章 1団体

令和4年秋の叙勲及び褒章における農林水産省関係の受章者が決定した。叙勲は81名（旭日章56名、瑞宝章25名）で、褒章は35名1団体（緑綬褒章1団体、黄綬褒章31名、藍綬褒章4名）が受章した。

サカタのタネ 坂田宏社長が旭日小綬章

㈱サカタのタネ（横浜市都筑区仲町台2－7－1）の坂田宏社長（70）が旭日小綬章（産業振興功労）を受賞した。社業である種苗業を通じた社会への貢献や、日本種苗協会（前会長・現相談役）、神奈川県種苗協同組合（理事長）、日本家庭園芸普及協会（会長）など、各種団体役員として産業界への功績が認められた。

坂田社長は創業家（坂田武雄）の三代目で、第一勧業銀行を経て1981年に当時の坂田種苗に入社し、2007年に代表取締役に就任。「花は心の栄養、野菜は体の栄養」、「種苗の力で笑顔と健康を届けることが使命」の企業理論で、サカタのタネをグローバル企業に成長させた。

耐久無滴農POフィルム
スーパーダイヤスター™
8年耐久
1 耐久性
●8年連続展張を実現しました。
8年耐久
●新配合剤の採用で更に（強度・透明性）が高まりました。
当社従来品(ダイヤスター) 比
●良好な透明性を保持します。
2 透明性
●新配合技術によりスッキリした透明感が向上しました。
当社従来品(ダイヤスター) 比
※地域、ハウス構造、気象条件によっては、耐用年数が短くなる場合があります。
耐久無滴散乱光農POフィルム
美サンランスーパーダイヤスター™
8年耐久
●散乱光となりハウス全体に光がゆきわたります。
●展張作業性に優れています。
●耐硫黄性は美サンランダイヤスターと同じです。
●無滴効果が持続します。
「マイナビ農業」にアクセス
スーパーダイヤスター マイナビ農業 検索
スーパーダイヤスターの記事を読もう！
3月9日から公開します。
三菱ケミカルアグリドリーム
本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱ケミカル日本橋ビル
TEL.03-3279-6200 FAX.03-3279-6757
農業資材の情報が満載。
当社ホームページにおこしください。 https://www.mc-agri.co.jp